

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【公表番号】特表2005-530510(P2005-530510A)
 【公表日】平成17年10月13日(2005.10.13)
 【年通号数】公開・登録公報2005-040
 【出願番号】特願2004-516301(P2004-516301)
 【国際特許分類】

C 1 2 P 1/00 (2006.01)

A 6 2 D 1/00 (2006.01)

B 0 1 F 17/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 P 1/00 Z

A 6 2 D 1/00

B 0 1 F 17/00

【手続補正書】
 【提出日】平成18年9月14日(2006.9.14)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0003
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0003】

しかし、本出願人の発明は、以前は廃棄されていた真菌物質に注目している。本出願人は、この真菌物質が相当な耐熱特性を有し、したがって耐火断熱材としておよび実際に消火剤として使用することができることを見出した。さらに、本出願人はこの真菌型物質の増殖を増大させ、それを回収するのに必要な時間を短縮する方法を開発した。

本発明に関連する先行技術文献として、栄養培地の表面に紅茶きのこを培養することを利用した、断熱性及び耐熱性を示す材料を製造する方法を提案するものがある(例えば、特許文献1参照)。

【特許文献1】国際公開第96/24680号パンフレット